

国語

指導改善ポイント①

「情報」の指導って、国語でもやらなきゃいけないの？

国語の授業で「情報と情報との関係」・「情報の整理」をどう指導すればいいの？

もやっと

こんな悩みはありませんか？

〔知識及び技能〕に(2)「情報の扱い方に関する事項」があるのは知っています。その中に、「情報と情報との関係」「情報の整理」という内容がありますね。



教科書にも「情報」の学習がありますが、何をどう指導するのかよく分かっていません。

「情報と情報との関係」や「情報の整理」は、子どもたちが、具体的に何ができるようになればいいの？



「『話すこと・聞くこと』や『書くこと』『読むこと』を通して指導する」と言われるけれど、どうしたらいいの？

指導の仕方を知りたいなあ。



すっきり

このような解決方法があります！

国語で指導する「情報」(情報の扱い方に関する事項)の内容

「情報と情報との関係を理解する」とは、様々な情報(文章・図表など)の中から、情報と情報との関係を見だし、印を付けたり矢印でつないだりして、結び付けて理解することです。

「情報と情報との関係」とは、「事柄の順序」、「共通と相違」、「全体と中心」、「考えと理由」、「原因と結果」、「主張と事例」などの関係です。

「情報の整理」とは、情報(文章・図表など)から必要な情報を取り出したり、活用したりするための整理の仕方を理解し使うことです。

「整理の仕方」とは、情報を比較、分類、関係付けて図示したり、複数の語句を丸や四角で囲んだり、線でつないだりすることなどです。

引用の仕方、出典の示し方、辞書や辞典の使い方を理解し、使えるよう指導することも「情報の整理」に含まれます。

「情報の扱い方に関する事項」はこう指導する！



「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を通して身に付ける必要がある場合は、教科書の「見通しをもつ(小学校)」「目標(中学校)」にも示されています。その学習(単元)に取り掛かる前にここで学ぶ情報の関係性や整理の仕方を確かめておきましょう。

➡P.7「アイディア例①」 P.9「アイディア例③」へ(書くこと) (読むこと)

すっきり の指導がよい理由

令和5年度全国学力・学習状況調査で課題が見られた設問

小学校	2	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	正答率	全国 62.0%	県 58.9%	自校 %
	三		(■解説資料 P.21~P.30 ■報告書 P.36~P.53)			
中学校	1	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	正答率	全国 65.1%	県 64.2%	自校 %
	二		(■解説資料 P.10~P.14 ■報告書 P.19~P.31)			

話や文章に含まれている情報を取り出して正確に理解する力、情報を整理して適切に表現する力を育てることにつながるからです。

例えば、第5学年「想像力のスイッチを入れよう」の学習では、「事例」と「筆者の意見」が書かれているところに線を引いたり、表にまとめたりする場を設定して、関係を捉えられるようにしましょう。